

## 桂町の新規造成地 札内桂の森ニュータウン

当組合では、今年4月から宅地造成が始まる札内桂町西地区「札内桂の森ニュータウン」の販売（仲介）窓口を担当、3月から購入予約受付を開始しています。

この造成地は札内墓地、頭勝寺北側でJR根室本線南側。3・4haの開発区域内で77区画の宅地を造成し分譲します。

幕別町の開発許可は2月16日に下り、藤原工業㈱が造成工事を担当して4月1日に着手、7月末完工の予定となっております。役場による完了検査を経て、8月には住宅の着工が可能となります。

造成される宅地は71坪～90坪。分譲価格は、1坪平均単価6・6万円、1区画当たり4～5百万円台が中心です。藤原工業㈱が売主となり、3月から購入予約の受付を開始し、工事着手後の5月から順次売買契約を進め、完工と同時に引渡しの手続きです。

予約受付、契約事務は当組合が担当していきますので、宅地購入をお考えの方は当組合管理部までお問い合わせください。なお、金融部では宅地購入者向けに「JA住宅ローン」も用意、融資相談についても対応していきます。



## JA札内が販売を担当



## 5カ所で 地区別懇談会

本組合の地区別懇談会が2月16、18、20日の3日間、5会場で開かれました。

懇談会には延べ70名の組合員が出席（出席率32%）されました。冒頭、高橋組合長は「新年度事業にあたり、組合員の経営向上に向け役員一体となり努力を致したい」と挨拶し、農協運営に対する理解と、農協事業の積極的な利用を求めました。平成23年度の収支見込み、各部の24年度事業計画が担当部長からそれぞれ説明され、意見交換では、賦課金の変更に關する意見のほか、ジャガイモシストセンチュウ対策、T P Pへの対応、農事組合の再編などの意見、要望が出されました。